

第57号

# はこぞき新聞

発行者  
箱崎環境対策協議会  
はこぞき新聞編集部  
中央区日本橋箱崎町34-8  
Tel 03-3667-5667

箱崎町箱四町会HP <http://www.hakozaki4.cher-ish.net/>  
～色々な行事の写真を載せてます！～

## 富岡八幡宮 子供神輿連合渡御



## お揃いの浴衣で盆踊り

「すずめ会」は、婦人有志による踊りの会です。明るく跳ねる雀のように元気に、色々な世代が混ざりあい、愉しくお稽古に励んでいます。

夏は「すずめ会」の踊りを披露する機会も多く、一同熱が入る季節です。

今年は揃いの浴衣もあつらえました。紺と白を組んだ模様も目をひく浴衣姿で、8月は「箱崎宵の縁日・盆踊り大会」と「中央区大江戸まつり」が活躍の舞台となりました。

13日(土)と14日(日)、箱崎公園にて開催された盆踊り大会は、例年参加者多数、子供も大人も一緒に大きな輪を作って盆踊りを堪能できる夏ならではのイベント。「すずめ会」も踊って踊って盛りあがります。初お披露目の揃いの浴衣も、周囲から「目を引く」「きれい」との声を頂き嬉しいことでした。

この度箱崎三町会より推薦され神輿総代になることになりました。伝統あるお祭りの総代になることを光栄に思うと同時に身の引き締まる思いで一杯です。来年の本祭りに向けて全力で頑張っています。

さて、8月14日第6回富岡八幡宮子供神輿連合渡御が行われました。午前9時花火の打上げの合図で54基のお神輿が一斉に担ぎ上げられます。わっしょいの掛け声と共に連合渡御の始まりです。永代通り門前仲町交差点から富岡二丁目までの直線約500メートルを閉鎖して、そこを折り返し一周するコースです。当日は猛暑の合間で普通ならすごしやすいという陽気でしたが、八幡様の水掛神輿にとっては若干寒いといったところでしょうか。消防団の放水の下に入ったときなどは、それこそ滝に打たれているような感じなのですから。休憩時には唇を震わせているお子さんもいましたが、いざ神輿を担ぎ始めるとがむしゃらに担ぎ棒について元氣よくわっしょいと声を掛けていました。

今回箱崎・新川地区七部会からは箱崎の子供神輿を含め4基の神輿が参加しました。

実はこの箱崎の子供神輿、子供神輿というよりは少し小さめな大人神輿といってもよいほど立派で大きなものなのです。当然その重量は相当なものでそこへ水が掛かるわけですから益々重くなります。正直背丈の違う子供たちだけでは担げるわけもなく、周りについている箱崎陸会のメンバーが腕で抱えて、そのほとんどを支えているのです。渡御が終われば上腕二頭筋・前腕筋はパンパンに張り水を飲もうにも腕が震えて口元から水がこぼれる始末です。本当に箱崎陸会のみんなお疲れ様でした。陸会のみんなやお祭りに携わる全ての大人がこれだけ一生懸命になれるのはひとえに次世代を担う小さな宝たちにこの町の伝統ある祭り・祭りを通して地域文化を伝えたいその一心で頑張っているのです。寒くて痛くてつらいこともあったかもしれないけど、どうか子供たちにこんな大人の気持ちが少しでも伝わるように願うばかりです。

それでも神輿渡御が終わったときの子供たちのすがすがしい笑顔を見れば小さな芽が確かに育ってきていることが感じられました。

神輿総代 宮田二郎



箱崎宵の縁日・盆踊り大会前の一コマ

続いて27日(土)、浜町公園にて開催の大江戸まつり2日目では、人々が踊る二重三重の輪の中心の檜上で、「チャンキおけさ」「これがお江戸の盆ダンス」の2曲を披露。このために集まって練習に励んだ成果か、美しくキマったのでは一！と一同満面の笑みでした。

夏が終わっても「すずめ会」はまだまだお稽古の場で元気に踊っています。

すずめ会 伊藤亜紀

八幡様の前で見事に差上げました。



大江戸祭り盆踊り大会踊り終わって記念撮影





## 第6回箱崎チャリティーフリーマーケット

今年で6回目を迎える箱崎チャリティーフリーマーケットですが、昨年・一昨年は雨天の為、泣く泣く中止せざるを得ませんでした。

今回の計画は、昨年末宮田会長の「来年のフリーマーケット雨天中止はなし!!」という言葉から始まり、昨年皆さまから頂いた貴重なご意見をもとに箱崎睦会役員会で話し合いました。開催日を梅雨時期の6月末から4月末(今年は4月24日)に変更し、雨天の場合は箱崎川第2公園にて開催すると決定しました。

雨天でも開催出来るよう企画しましたが、出来れば鯉のぼりの泳ぐ箱崎公園で開催したいという思いから、やはり気になるのは天候です。

10日前より天気予報を確認する毎日が続き、前日の天気予報は【雨のち曇り】。当日の早朝に外を見ると雨が降っており、箱崎川第2公園での開催になってしまうのか? と思いつつ、パソコンの電源を入れて雨雲レーダーを確認しました。すると、開始時間の10時に箱崎から雨雲が抜ける予報となっています。宮田会長と連絡を取り、箱崎公園での開催を決定! 雨が降る中での準備作業となってしまいましたが、問題なく準備は終わりました。

雨が上がった10時10分、10分遅れのスタートとはなりましたが、鯉のぼりの泳ぐ箱崎公園で無事に開催する事が出来ました。

このチャリティーフリーマーケットは、東日本大震災復興支援を目的として出店者様より出店料+売上金の一部と、我々睦会が出店している模擬店の収益金を義援金として中央区を通じ石巻市へ送金しています。今回は熊本地震直後の開催という事もあり、本部席に熊本地震義援金募金箱を設置させて頂きました。

出店者様、お買い物をして下さった方々、中央区環境土木部、箱崎三町会、皆様のご協力のおかげで石巻市と熊本



フリーマーケット会場は、手作り鯉のぼりが泳ぐ箱崎公園

県へ義援金を送金する事が出来ました事を感謝すると共に御礼申し上げます。今後も色々な問題点をクリアしながら本チャリティーフリーマーケットを企画、継続開催していきたいと考えております。

今まで同様皆様にご協力頂ける事を心より願っております。

開催日時: 4月24日(日)  
10:00~14:30

出店数: 24名(団体)

出店区画数: 31区画

石巻市への義援金: ¥109,295

中央区を通じ送金

熊本地震への義援金: ¥19,499

(募金箱) 郵便局より送金

箱崎睦会 渡邊健一

## おりづるクラブ活動報告

おりづるクラブがスタートして、今年で8年目になります。

毎月、皆さんが楽しく語り合いながら作品を作っています。増淵さんの指導により、手先を動かして一生懸命に作品に打ち込んでいます。出来上がる度に笑顔が出ます。

7月は七夕さま。昨年は笹竹に飾り付けをしていましたが、今回は色紙に笹竹を描いていきました。その絵の天の川に希いを託し、短冊や小さな亀などを折り、飾り付けました。

出来上がった作品は皆さん好評で、自然に笑顔がこぼれます。それぞれ自宅に持ち帰り、自宅に飾ることにしました。

おりづるクラブ 渡辺宏子



色紙で巧みに作られた七夕飾り

## 納涼ビール祭り

平年より遅い梅雨明けが発表された7月28日、毎年恒例の納涼ビール祭りが提灯の飾り付けが整った隅田川河畔で開催されました。

下町風情が残る一方、見上げると近代的な高層ビルがのぞく近頃は、外国



美味しいお弁当めしあがれ!!



人観光客も多く、国際色豊かな街になった箱崎…。

当日はハワイアンバンド&フラダンス等の演奏の中、川風が抜け涼しさを増した会場も満員状態となり、熱気であふれ多めに盛り上がりました。

今年も大勢の参加をいただきました。ビール、チューハイ、清酒、ウーロン茶、ジュース等の飲料水は例年より若干少なめの消費でした。

睦会会員、町会役員の皆様、準備等早くからご苦労様でした。

地元企業と町会との交流をはかる目的のこのビール祭りも、大盛況の内に幕を閉じました。

箱崎北新堀町会 寺坂廣美



工事中のため永代橋のライトアップが休止中だったのが少々残念でした。

## 石塚ひろしさん プロ歌手デビュー

平成27年12月20日に歌手デビューした箱崎二・三町会の石塚ひろしさんが、8月13日(土)の「箱崎宵の縁日」でその歌声を披露してくれました。

“越冬(ふゆ)の酒”と“祝い餅”の2曲です。箱崎の皆さんにも好評で、大きな拍手が送られていました。石塚さんの益々のご活躍を期待しています。

箱崎二・三町会 町会長 加藤恵一



箱崎公園でデビュー曲を披露する石塚さん





箱崎未来亭の前では  
おじいちゃん、おばあちゃんに  
差ししてるところを見てもらいました



子供神輿の  
町内渡御も盛大に！



フードコーナーは、三町会が  
力を合わせて、心を込めて

大盛況の箱崎宵の縁日

箱崎夏祭りをリニューアルした「箱崎宵の縁日」も今年で二回目の開催となりました。

昨年は一から計画を練り直したため、全てがドタバタでした。しかし、土台が出来ている今年は事前準備から当日の設営までは比較的スムーズに事が運んだように思いました。ただ、かき氷のコーナーは設営時から開会後も様々なトラブルが続出し、担当者の方々には多大なご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。他のコーナーでは大きなトラブルも無く、時間を早めて販売を開始した生ビールとおつまみセツトも順調に売れていきました。

例年、三町会長をご紹介する場を設けていますが、今年には箱崎の五名の神輿総代と、特別ゲストとして富岡八幡宮の神輿総代会七部会の幹部の方々のご紹介、且つご挨拶も頂戴し、来年の連合渡御に向けて気持ちの入る良いセレモニーになったと思います。

この縁日、計画時に描いていたのは、今まで踊り手しかいなくてちよつと寂しかった盆踊りを宵宮を楽しみながら

大盛況の箱崎宵の縁日



盆踊りは  
綺麗な浴衣で

一杯やる人、家族連れで楽しむ人、遊びまわる子供達で賑やかにする事でしたが、昨年以上の人が公園内に残ってくれたように感じました。また、本来なら夜遅くに公園で遊んでいるはずもない小さい子供達が走り回っている光景は、お祭りならではの雰囲気を出してくれていました。

盆踊りにも大勢の踊り手の方に参加して頂き大盛況でした。翌日は盆踊りのみでしたが、大勢の人が踊りに来てくれて大いに盛り上がりました。箱崎睦会の会員を半ば強制的に踊りに参加させてみましたが、踊ってみると楽しいですし、心地よい汗をかきました。かくして二日間盛り上がった夏祭りは幕を閉じました。お客様を喜ばせようと考えればネタは出てきますが、その分睦会や町会の方々にも新たな負担を強いる事に繋がります。そんな事を解消すべく、もっと睦会会員が増える事を望みますので、我々と一緒に箱崎の町を活性化してくれる祭り好きの仲間を募集しております。興味を持たれた方は一度顔を出してみたいでしょうか！

箱崎睦会 眞野勇志

大江戸助六太鼓  
さんの演奏



来夏はお揃いの浴衣で



わくわく、どきどきの  
ビンゴ大会が始まるよ!!



ふれあい福祉席に集う  
若手たち…?



ゲームコーナーも  
盛況でした





### 第三分団優勝

去る6月5日、浜町グラウンドで行われた日本橋消防団消防操法審査会で第三分団が三年ぶり三度目の優勝を致しました。

指揮者吉益部長、一番員（筒先）大谷団員、二番員（伝令）村山団員、三番員（トビロ）堀田団員、四番員（ポンプ操作）森口班長、補欠染谷部長という布陣で臨みました。

一番員と三番員は女性です。本人の強い希望とはいえ、屈強な男性でも大変な筒先を女性が受け持つのですから、人選をめぐり分団内で反対する団員もいて、当初は前途多難な幕開けでした。やる気とモチベーションはものすごい大谷団員が他の団員を引っ張る感じで訓練は始まりました。

訓練後の反省会でその日の操法や過去の操法のDVDを見るのは当たり前。他分団の訓練を見に行ったり、堀田団員を巻き込んで訓練日以外の自主練習をしたり、全国レベルの消防仲間を作ったり、色々な事が彼女を中心に回っていたと言っても過言では無いでしょう。でも訓練当初は水圧に飛ばされそうな頼りない一番員でしたし、実際飛ばされて危ない場面もありました。そんな訓練があって危ない操法を避け安全確実な操法を目指し、そしてその結果優勝できたのは大谷団員だけでなく選手全員の努力と協力があつたからです。

指揮者はもちろんですが、二番の村山団員の走力、一番員に負担をかけないホース補助姿勢。操法デビューの堀田団員のやる気と真面目さ。森口班長の一番員に負担を掛け過ぎない見事な送水技術と覇気。染谷部長は補欠として欠員選手の代役をどこでも快くやってくれました。また子育て真っ最中の森口班長村山団員の子連れ訓練参加、これも大変な事です。これらをもってチームワークの勝利以外何と呼べば良いのでしょうか。少人数の分団で欠席者が数人で水槽が張れなかった日も多く、決して順風満帆な日々を送れた訳ではありません。ですが指導に来てくれた本団の方々、一時分団を離れた赤塚団員、他分団の選手、他の消防団の方など色々な方々が訓練を見に来てくれました。

また当日も町会の方々を初め、高知の鏡分団の方々や区民カレッジの方々などたくさんの応援を頂きました。有り難い事だし、私個人としても分団の指導者としてチーム優勝ができて良かったと思います。加えて大谷団員が一番員の優秀賞を獲得したのも嬉しい事でした。願わくば操作員全員に優秀賞をあげたかったです。

最後になりますが、いつも騒音や道路使用でご迷惑をおかけしているにも関わらず、各町会の皆様からはご支援やご理解を頂き、訓練を安全且つ有意義に出来た事をお礼申し上げます。ありがとうございます。

それから、常時団員募集中です。一緒に活動したい人はいませんか。男女は問いません。来年は連覇を狙います。

日本橋消防団・第三分団副分団長  
小笠原宣夫



分団	行動 (減点)	タイム (減点)	総合 (減点)	タイム		順位
				基本(100%)	付加(10%)	
4分団	28	36	64	82.44分	43.00分	位
7分団	40	21	61	72.35分	49.00分	位
5分団	38	34	72	77.90分	55.70分	位
1分団	30	19	49	70.45分	49.44分	位
2分団	35	37	72	82.50分	52.95分	位
3分団	28	17	45	69.23分	48.03分	位
6分団	31	55	86	87.03分	67.95分	位

優勝旗を手にバシ

### ちょっと立話

今、大川端でテラスを通行止めにして何か工事をしているネ！知ってる？

あー、やってるネ！

ありゃ、大震災に備えてカミソリ堤防の耐震補強の工事だってヨ。

年末まで清洲橋の方には行けない様だヨ！

そりゃー散歩の人やワンちゃんには気の毒だな！

ところで...

四年後の東京オリンピックに向けて豊洲やお台場の水辺が賑やかになって来たネ。

水上バスもこれまで以上に大活躍するってーから、箱崎の防災船着場も

やっど日の目を見られるかな？

人形町、水天宮様、ロイヤルパーク、エアターミナル、そして大川端へとの

流れが出来ると、箱崎がまたまた活

気ある町になると思うんだがなー！



工事中の隅田川堤防(カミソリ堤防)

### 区議便り

#### 子育て応援サイトと認知症パンフレット

中央区議会は、4つの常任委員会と4つの特別委員会を設置しています。これまでの少子高齢化対策特別委員会は、5月より名称を改め、「子ども子育て・高齢者対策特別委員会」となりました。本年度、委員長を拝命しております。7月に実施した行政視察の報告と、中央区の子ども子育て支援と認知症対策のツールをご案内致します。

#### ○行政視察報告(7月7~8日実施)

まず長岡市の社会福祉法人長岡福祉協会の高齢者総合ケアセンターを視察しました。長岡福祉協会は、中央区の指定管理者として、平成26年に小伝馬町に開設したケアサポートセンター十思等、区内2つの高齢者施設を管理運営しています。実績とノウハウを活かして質の高いサービスを期待するところです。新潟市では市役所のこども未来課を訪問し子育て支援策について情報交換を行いました。

#### ○子育て応援サイト

「中央区こどもすくすくナビ」

中央区では、妊娠・出産から就学時まで子育てに関する情報をわかりやすくまとめたウェブサイトを開発しています。行政サービスや相談窓口など知りたい情報を見つけやすくスマートフォンやタブレット端末からもアクセスできて便利です。

#### ○「備えて安心！認知症」

パンフレット

認知症に関する相談、治療、介護に関する情報を一つにまとめた縦長の冊子を作成、7月に65歳以上の方一人に一部ずつお送りしています。認知症の対応方法、相談窓口などご家族の皆様にも目を通していただきたい内容です。

私たちの町会では、民生委員さん、町会の皆さんの見守り活動など日頃から様々な取組みにより安心な暮らしが支えられています。ご紹介のツールも是非ご活用ください。

昨今、育児ノイローゼや介護の疲れなどから起きた痛ましいニュースを多々目にします。核家族化の中、育児も介護も、孤立して悩むことがないように、いつでも相談できる環境づくりを推進してまいります。

中央区区議 染谷真人

### 小網神社・宮神輿

5月28日（土）箱崎睦会有志で小網神社例大祭の宮神輿渡御に参加してきました。

小網神社の例大祭は5年おきだそうですが、平成23年は東日本大震災の影響で宮神輿渡御が中止になったとのこと。また、平成28年は小網神社の御鎮座550年の節目を迎える年でもあり、10年ぶりの宮神輿渡御と相まって盛大なお祭りとなりました。

集合時間の少し前に到着すると、各町の半纏を纏った担ぎ手が数多く集まっていました。付近は半纏の見本市の様な状態でした。

ところで、小網神社は都内でも有数のパワースポットとして知られ、境内の「銭洗いの井」で金銭を清めると財運がアップするそうです。「東京銭洗い弁天」とも呼ばれる小網神社へ金運アップの祈願に行かれてはいかがでしょう？

はこぎき新聞編集部

小網神社の宮神輿



### 箱崎環境対策協議会の新体制

地下鉄建設問題を機に発足した箱崎環境対策協議会ですが、今年度より2つの部会として新たに活動を行っていくこととなりました。どうぞよろしくをお願いします。

#### イベント部

・鯉のぼり、クリスマスイルミネーションの飾り付け

- 部長 山田浩由（箱四）
- 副部長 高崎清一（箱北）
- 副部長 沼崎富雄（箱二三）
- 副部長 白崎敏孝（箱四）
- 部員 会田 潔
- 部員 川崎 亮
- 部員 白石政博
- 顧問 山中國廣

はこぎき新聞編集部

・はこぎき新聞を年2回発行

- 編集長 会田 潔（箱四）
- 部員 内田哲夫（箱北）
- 部員 白崎敏孝（箱四）
- 部員 大木 実（箱四）
- 部員 伊藤亜紀（箱四）
- 町会長 大塚英一（箱北）
- 町会長 加藤恵一（箱二三）
- 町会長 増淵一孝（箱四）

### 今年後半の主な行事予定

- 9月下旬 秋の交通安全運動
- 10月16日 中央区子供フェスティバル
- 11月 箱崎睦会BBQ大会
- 11月下旬 夜間合同防災訓練  
& X'masツリー一点灯式
- 12月 4日 三の部子供餅つき大会
- 12月 各町会忘年会
- 12月下旬 箱崎睦会旗付け
- 1月上旬 はこぎき新聞発行  
(予定は変更になる場合もあります)

### 「箱崎の寅さん」 西山幹夫氏逝く

昭和52年、長い旅路より「箱崎の寅さん」が帰って来た。西山氏34才、私32才の時であった。

瞬時によみがえる。先輩、後輩のたて社会。小学生の頃に逆戻り。命じられるがままに、私達下級生は箱崎公園の砂場に直行し、ビー玉ころがしを作った。なるべくビー玉が「当たり」に入らない工夫を先輩の指導の基に。そして夕方店じまい、もうかったビー玉を下級生に「少し」分配し、先輩は近所の駄菓子屋に向かう。そして現金と換える。マネーロンダリングならぬビー玉ロンダリングとなる。

楽しかったな～。先輩がいたお陰で箱崎の街は安心、安全な少年の街だった。（異論のある方もいらっしゃると思いますが）

ここで青年時代の先輩についてふれておこう。

17才で箱崎の街を離れ、雀荘の従業員、劇団俳優座の大道具、湘南江の島にて干物作り等、華麗なる青春時代を送った。

余談となるが後年町会バスハイクの折、江の島に渡る橋に多くの「さざえのつぼ焼」を売る屋台から声がかかった。

「幹ちゃん、久しぶり」「幹ちゃん、逢いたかったよ～」本当にびっくりした事を皆さんも覚えているでしょう。

こっそり私に教えてくれました。「増淵、あそこの屋台で買うなよ、身がいっぱい入っているように見えて、半分以上は蒲鉾だ。蒲鉾は煮しめるとさざえに見える。」蒲鉾ロンダリング。

それにしても先輩は良い男だった。浅黒い顔、「裕次郎」を思わせる足の長さ。俳優座の仲間になられたのか、先輩は日活映画のニューフェイスに応募する。履歴書と写真で、第一次試験見事合格。第二次試験「せりふ」が言えず不合格。それ位いい男だったのである。

そのいい男の寅さんが帰って来た。箱崎の街に町会につむじ風となって。

神輿の西山、盆踊りの西山、子供の味方、おばあちゃんの味方、日本橋高校女生徒のアイドルであった。皆さんも思うでしょう。富岡八幡宮神輿総代あまたいる中、西山幹夫ぐらい祭り装束の似合う男はいなかったと。

思い出は山程ある。書きたいことも山程ある。亡くなる半月程前に西山さんを見舞った時、先に逝った笹枝さんと呼ぶのである。

「増淵、笹枝も具合が悪くてね、大変なんだよ。ちょっと呼んでくれ。」女房に世話になった。そして心底想っていた。

西山さんは多分五人姉弟、女四人、男一人、その真ん中に生まれた。三女の方が私と同級生であった。最期を看取った同級生が言った。「増淵君、亡くなる寸前、何て言ったと思う。「まええ、まええー」って、きつと神輿のことだよね…。」

町会の役員となって、そして副会長に。私が町会長になってからも本当に良く支えてくれました。感謝の言葉しかないが、青少年対策地区委員として長きにわたり尽力されたことは重ねてお礼申し上げる。あの西山さんが青少年対策である。推挙したのは私であるが、考えてみればあまりにもピッタリで…。

山岸町会長、鷲田さんと追悼文を書いてきた。何の因果で西山さんの追悼文を書くはめに。貴男は本当にやさしい人でした。子供におばあちゃんに、取り分け女性に。

箱崎も何だか時代が変わろうとしています。それも良い方向に。貴男の後輩、そして箱崎睦会の面々もすくすくと育っています。今年の夏の行事も無事終了しました。

さあ来年は富岡八幡宮例大祭、箱崎の神輿を立派に担ぎ上げます。貴男のやさしさでそっと天国から見守って下さい。

さようなら幹ちゃん。

箱四町会長 増淵一孝



永代橋手前で神輿を担ぐ西山さん  
2008年8月、連合渡御



## 押し花の作品が 展示されました

どうしても綺麗な押し花にならないので、ふと本格的に習ってみようかしら？ と思い立ち、早8年が過ぎました。インストラクターを習得してからは、恩師の勧めで毎年コンクールへ出品するようになり、現在に至っております。

今年は「上野の森美術館」と「日光東照宮」に作品を展示できました。

材料の収集と、それを押すことで、忙しくも充実した日々を送っています。野菜、果物、雑草、そしてお花や草木、葉など全てが対象になります。そして、その押し花を通じて大自然とのふれあいも多く、私の元気の基となっています。

お見舞い、お祝い、お礼など様々な用いられることも多く、今も作り続けています。



“押し花芸術展”上野の森美術館展示作品「祭りだワッショイ！」箱崎の神輿です。



“世界押し花芸術祭”日光東照宮400年記念展示作品「平穏」眠り猫と雀です。

箱崎二・三町会 婦人部長 西澤千代子

## 大盛況の鯉のぼりイベント

家族や友達同士で参加する人が開始時間前にたくさん集まり、鯉のぼりイベントは大盛況となりました。あまりの盛況ぶりに、一人一枚の配布では足りなくなると見込んで、今回は一家族につき一枚の配布となりました。

しかし、鯉のぼり一匹一匹の仕上がりがクオリティの高い作品となりました。参加された方々とのコミュニケーションも取れて私にとっても楽しいイベントとなりました。中には、昨年の教訓を活かして模様や色使いの工夫を凝らして作成している熱心な方もいて、嬉しくなりました。

当日の強い風を受け、出来上がった鯉のぼりは力強く泳いでいきました。お楽しみで配られたおでんを美味しく食べて駆け回る子ども達を思い浮かべると、矢車が落下したり、強風で鯉のぼりが飛んで行ってしまったトラブル、小雨が降る中で苦勞して飾り付け直した事が報われた気がします。

今年はフリーマーケットの時期と重なり、たくさんの来場者に鯉のぼりを見ていただける良い機会でもありました。箱崎公園が地域イベントの拠点となり、子ども達の楽しい場となるよう微力ながら今後もお手伝いできたらと思います。

イベント部 白石政博



思い思いの  
絵を描く  
子ども達

描いた後は  
公園に飾り  
付けました



## 中央区まちかど展示館 ホームページスタート！

はこぎき新聞の前号でお知らせしましたが、中央区主催による「まちかど展示館ホームページ」が今年4月にスタートしました。

中央区内のお祭りなどの伝統行事や名所・旧跡など、色々な文化資源を区内外の方々に広く知っていただくための資料となるホームページです。箱崎町の大神輿・子供神輿が展示されている「箱崎町箱四町会神輿庫」も「まちかど展示館」の一つとして写真などが紹介されています。また、2014年夏の連合渡御のワンシーンの動画も入っていますのでどうぞご覧ください。

## 中央区まちかど展示館ホームページ



区内各所の神輿庫のほか、箒や足袋、のれん、浴衣、葉や印刷や映画に至るまで、様々な分野の「匠」が紹介されています。さらに、「まちかど展示館」に関連するイベント情報も載せてありますので、区内の散策にもご活用ください。先日の「箱崎宵の縁日」や「富岡八幡宮子供神輿連合渡御」についてもイベント情報として掲載していただきました。

「まちかど展示館ホームページ」  
<http://chuoku-machikadotenjikan.jp/>

中央区まちかど展示館運営協議会  
会田 潔（箱四町会代表）

## § 編集後記 §

昨年末から今年の冬にかけては北関東地方で降雪が少なく、梅雨時も各地の貯水池は満足な量まで回復しませんでした。

夏場の水不足が心配されていましたが、その後の雨で十分に貯まって来たようです。

◇

こうして、今夏も「水かけ祭」は無事に開催するに至りました。

富岡八幡宮前の永代通りを通行止めにした「子供神輿連合渡御」、その後の箱崎町から新川に至る七部会連合渡御、そして、箱崎町内の子供神輿渡御まで。消防団による放水やバケツ・水鉄砲からの水かけが、いずれも盛大だったことは皆様ご承知のとおりです。

◇

そんな夏祭りの様子を掲載した「はこぎき新聞」は、この号より一部ページをカラーとしました。日刊紙や中央区のお知らせも、カラーページを採用する新聞が当たり前の世の中。春や夏のイベントは、その彩りもお伝えしたい、との気持ちから「はこぎき新聞」もカラー写真を入れてみました。

今までの紙面から印象が変わったと思いますが、いかがでしたでしょうか？ 今後も色々なシーンの箱崎町をお伝えしていきたいと思っております。